

ひまわり No.20

消防広報 平成27年(2015)2月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853) 21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp

写真：湖陵町「ハマナス保育園」幼年消防クラブ
ぞう組・パンダ組・きりん組のみんな



春

期間：3月1日～3月7日

の全国火災予防運動

全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いことから、火災の発生しやすい季節となります。家庭で火を取り扱う時には、防火標語の「もういいかい」とすぐにその場を離れるのではなく、「まあだだよ」と火が消えたことをしっかり確認してください。

春は新たなスタートの季節です。この機会に防火・防災意識を生活の一部に取り入れてみませんか。

大切な家族や家を火災から守るために 住宅用火災警報器を設置しましょう

あなたの家族や家は守られていますか？家族と家を火災から守る第一歩は、住宅用火災警報器の設置です。住宅用火災警報器は火災の早期発見と就寝時の逃げ遅れ防止に効果的です。設置されていない場合は早急に設置し、安全・安心の生活環境を作りましょう。

提供：一般社団法人 日本火災報知機工業会

定期的に作動確認し、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注)警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」が「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

❗
ご注意ください

●火災警報機の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。
●お手入れや動作確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。

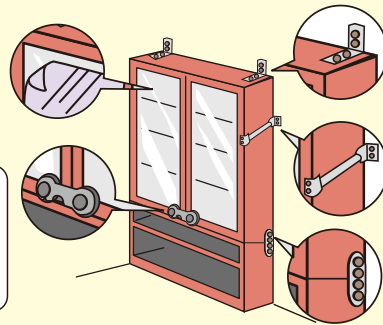
地震への備え『家具等の転倒防止・落下防止』をしましょう

建物が無事でも、家具などが転倒すると、下敷きになってケガをしたり、避難経路を塞いだりしてしまいます。

阪神大震災から20年が経過し、東日本大震災から4年が経とうとしています。この教訓を忘れぬよう、ご家庭の家具をもう一度確認してみましょう。

扉がガラスの場合はガラス飛散防止フィルムを貼っておきましょう。

引き出しや扉にはストッパーなどを取り付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。



タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定しましょう。

壁や家具の種類などによって適した固定方法が異なります。自分の家や家具などにあった方法を選びましょう。

幼年・少年・女性防火防災クラブ指導者研修会の開催について ～女性の視点で考える「安心できる避難所づくり」～



この度、各地域で火災予防に取り組んでおられる女性防火防災クラブ員及び幼年・少年消防クラブ員指導者の方々を対象に、女性ならではの視点から防火防災意識を高めていくことを目的に『HUG』を開催しました。

参加者は避難所の運営者となり、次々にやってくる様々な事情を抱えた避難者の部屋割りや、炊事場・仮設トイレの配置といった生活空間の確保、外部からの視察やマスコミの取材対応など、実際に起こりうる様々な事態に対し、思いのままに意見を出しあい、避難所の運営を模擬体験されました。

HUGとは、H(hinanzyo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)の頭文字を取ったもので「ハグ」と読み、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

HUG
とは？

山火事を防ぎましょう

- 火災が起こりやすい枯れ草等のある場所では、火の取扱いをしない
- 火を取り扱うときは、事前に消火の準備をしておき、火が残らないように後始末を徹底し、完全に消火したことを確認する
- 強風時や乾燥時には、火気を使用しない
- たばこの吸殻は必ず消すとともに、投げ捨ては絶対にしない

全国山火事予防運動

3月1日～3月7日



救 急 リ レ ト ー ク 1

出雲市消防本部は「救命率の向上を図るために」全国に先駆けて様々な取り組みを行っています。
今回は「ファーストレスポnder体制」についてご紹介します。

奥田儀地区ファーストレスポnder体制発足！

出雲市消防本部は、平成23・24年度に救急通報から救急車が現場到着までに20分以上を要する遠隔地域8地区を選定し、AEDを配備しました。

その8地区のうち、地区の賛同・協力が得られた多伎町奥田儀地区で、ファーストレスポnder体制を実施されることとなり、その発足式がこのほど行われました。



ファーストレスポnderの模擬訓練の様子



救急初期対応者という意味で、心肺停止状態等の命の危険がある方に対して救急車が到着するまで救命活動を行うことと、自分の地区の方の「助かるべき尊い命」を救うことを目的としています。

「ファーストレスポnder体制」とは、消防本部からファーストレスポnderへ情報をメールで発信し、連絡を受けたファーストレスポnderが救急隊到着までに応急手当を行うことをいいます。

この体制は、欧米各国ではすでに行われている取り組みですが、わが国では、石川県加賀市に続いて2番目となります。

以上、ファーストレスポnder体制についてご紹介しました。

出雲市消防本部は「常に時代に先駆けた救急への取り組み」を行っています。今後も市民の皆さんとともに、1人でも多くの命が助かるよう日々前進してまいります。

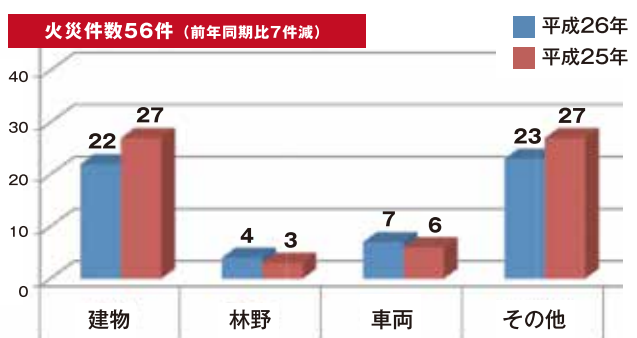
～応急手当講習会の内容～

講習会の種類	受講時間	内 容
①救急講習会(救急法)	1～2時間	心肺蘇生法/AED使用方法
②普通救命講習Ⅰ・Ⅱ(修了証交付)	Ⅰ:3時間 Ⅱ:4時間	心肺蘇生法/AED使用方法 止血法及び異物除去法
③上級救命講習会(修了証交付)	8時間 (1日講習)	②の救急講習の内容及びその他の応急手当
④応急手当普及員講習	24時間	応急手当の知識や技術を 職場や地域で普及するための指導要領の講習

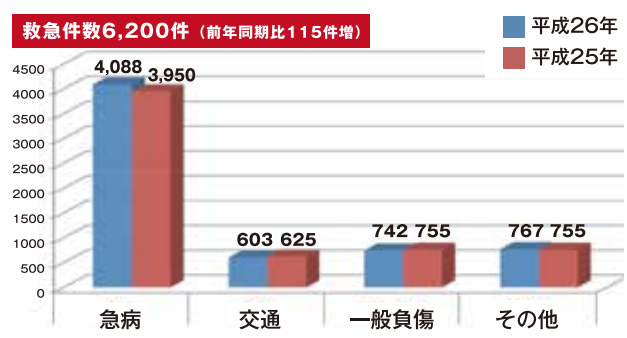
応急手当講習会のお申込み・お問い合わせは、消防本部警防課救急救命センター(21-6923)までご連絡ください。

平成26年中(1月～12月)火災・救急状況

火災は約6.5日に1件、救急は1日に約17件の割合で発生しています。



平成26年中の火災件数は56件で、前年の63件に比べ7件の減少でした。種別毎にみると、枯草などが燃えた「その他の火災」、「建物火災」が前年に比べ減少したものの、「林野火災」と「車両火災」が増えています。火災による死傷者は、死者の発生は無かったものの、負傷者は17名で前年に比べ8名増加しています。



平成26年中の救急件数は6,200件で、前年の6,085件に比べ115件の増加となりました。種別毎にみると、「急病」が4,088件で全体の約65%を占め、次いでけがや骨折などの「一般負傷」が742件、「交通事故」が603件となっています。傷病程度別にみますと、軽傷が全体の約46%(搬送人員5,780名中2,683人)を占めています。

地元消防団との

合同訓練を実施

秋季火災予防運動にあわせて
 去る11月9日、出雲西消防署と出
 雲市消防団神門分団合同で、林
 野火災を想定した訓練を実施し
 ました。

当日は出雲西消防署・神門分団
 それぞれの小型ポンプ間に、ホー
 スを長距離延長し放水をする「中
 継送水訓練」等を行いました。

今回の訓練を通じて、現場活
 動において必要な「連携」や「意
 思統一」を再確認しました。



さまざまな形で

火災予防

このほど、出雲市民余芸大会
 に出演し、「住宅用火災警報器
 や消火器の不正販売」と「消火
 器の取扱い」を題材に寸劇を行
 いました。

また、企業対抗ボーリング
 番組「10ピン」(出雲ケーブルビ
 ジョンと出雲センターボウル
 主催)に当本部職員が出演し、
 ボウリングで火災予防をPR
 しました。

各種試験のお知らせ

試験種類区分		願書受付期間・試験日		試験種類	試験場所
危険物取扱者	第1回	受付期間 試験日	4月28日(火)～5月12日(火) 6月14日(日)	甲種	松江・出雲・大田・浜田 益田・隠岐
	第2回	受付期間 試験日	9月1日(火)～9月15日(火) 11月1日(日)	乙種	出雲・浜田・隠岐
	第3回	受付期間 試験日	9月1日(火)～9月15日(火) 11月8日(日)	丙種	松江・大田・益田
	第4回	受付期間 試験日	12月8日(火)～12月22日(火) 平成28年2月7日(日)	乙種	松江・出雲・浜田 益田・隠岐
消防設備士	第1回	受付期間 試験日	6月16日(火)～6月30日(火) 8月9日(日)	甲種	松江・浜田
	第2回	受付期間 試験日	10月13日(火)～10月27日(火) 12月13日(日)	乙種	松江

※書面申請の場合の受付期間を掲載しております。

試験内容の詳細については、(財)消防試験研究センター島根県支部(0852-27-5819)へお尋ねください。
 なお、願書は最寄りの消防本部・消防署に備えております。

代表(電話 21-2119)(FAX 21-8241)

お尋ねは

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>